

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
-美浦村女性行政推進協議会-

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

社会のしくみに市民 の声を反映するには

小峯 久美子

女性が初めて選挙で投票したのは、昭和21年4月10日の衆議院議員選挙からです。女性議員も誕生しましたが、7年後の今日でも政治分野での日本の男女格差は大きいといわれています。

今回は、昨年12月に開催された座談会「22冬の語らい 次世代につなぐ 女性リーダーを招いて」についてお話しします。

私たちの身近にはさまざまな課題、問題があります。それらは個々の課題、問題ではあるがみんなに共通したこと

でもあるのではないかと。通り過ぎたこととしてそのままにしておくのではなく、声に出さなければいけないのではないかと。その声を社会のしくみに反映させるにはどうしたらよいか。等々、会員で話し合いを重ねた結果、市民の代表であり、市民活動のリーダーとして活躍されている女性議員さんにも参加してもらい、身近な問題や疑問を取り上げ、話す場を作ることになりました。

昨年12月に稲敷市、阿見町、美浦村の女性議員さん4名の協力を得て、身近な課題や問題について対話形式の座談会を開催しました。まず各議員さんの仕事や取り組みについてご紹介いただきました。次に「市民からの声にどのような対応をしますか」では、参加者から「教育に関することはどこに相談したら良いのか分らない」という質問に対して、「そういう声が多く、一人ひとりの事情に向き合って話をしたり、一緒に窓口に行ったりもするが、相談する人が自立して立ち向かえるように背中を押す。」と、

市民からの相談を受けた時の姿勢も話されました。

女性議員さんは男社会といわれる政治分野で活動されていますが、「男だから女だからということではなく、人として評価される社会になることが理想です。」と話されておりました。このことはどの分野にも共通することだと思えました。

今回、議員さんたちの仕事や取り組み、そして考え方を知ったことで、政治分野を少し身近に感じたように思います。これからも、声を集める座談会を2回、3回と重ねていき「社会のしくみに市民の声を反映させる」ことの実現に少しでも近付けてまいりたいと思います。

あなたの声を 聞かせて下さい

共に輝くみほの会では中央公民館内の男女共同参画コーナーにご意見箱を設置しています。皆さまの声を寄せ下さい。

■問合せ 企画財政課



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「節・分(一字以上詠み込み)

長いマフラー分け合いながら距離を縮める初デート
竹の節見て生長思う人と比べる何の為
喜寿を迎えて健康願う夫とおやつは半分こ
日々の節約節電なおも迎る八十路の世が不安
思い起こせば節目であった安否きづかい会いに来た
竹の節目を見事にいかし富山越前竹細工
今年しや節分大きな声で孫が豆撒き鬼退治
寒さ堪えて背中を丸め猫背気にした季節過ぎ
亡母に習った節約術を今も忘れず守る妻
鬼が住んでる心の闇へ届け節分年の豆
季節巡ってセットの髪に春が割り込む今日の風
コロナ戦争いつまで続く福を呼びたい節分会
節目記念日夫から指輪つけてびったり夢さめる
物価上昇節約暮らし寒波身に沁む安普請
値上げラッシュの節減策に野菜作りは救いの手
冬の分れめ立春過ぎた庭に餅草ただらうれし

二月の俳句(題 当季雑詠)

日脚伸び日毎に移る日矢の位置
二ヶ月の風吹くばかり里の家
新春のピアノリストの指さやかなり
竜の玉竹鉄砲で空を飛ぶ
春らしき薄着の我は花粉症
美浦歌留多悔し涙に沈む子等
日溜りによくよく見ると犬ふぐり
弱虫の心の闇に追儼豆
春めくや古典鑑賞うとうとし
記録的寒波女子会決行す
番号を連呼す病院外は雪
土器を焼く校庭の子等よ冬日向
両の手で缶茶を握る寒さかな
餅花や客を迎える直売所
雪吊りや夜に映える兼六園

(五十首順)

- 石戸 葎華
- 井戸賀 蘇道
- 上野 八千代
- 小園 江久美
- 門脇 悠美
- 木村 幸子
- 篠原 美千代
- 関根 秀子
- 高橋 一步
- 田島 草実
- 塚本 夏雲
- 沼寄 朋香
- 長合 川悦子
- 増尾 青蓮
- 山岡 亜子
- 山崎 泰弘
- (五十首順)
- 青野 安佐子
- 石毛 惠美子
- 市川 紀行
- 海道 民子
- 木澤 はしめ
- 小林 美佐恵
- 高柳 幸子
- 田島 早苗
- 中島 輝子
- 長田 敏笑
- 増尾 尚子
- 松葉 統子
- 宮崎 きみ枝
- 村崎 典子
- 山口 美代子